

様似町生活館活動推進事業 講演会

「アイヌ民族のかたわらで撮り続けて」



講師 宇井 真紀子さん (写真家)

平成31年2月20日(水) 午後7時から

東様似生活館にて

参加無料

今回は20年以上にわたってアイヌ民族の写真をライフワークとして撮り続けている写真家の宇井真紀子さんをお招きしてお話を伺います。宇井さんがこれまで撮りためた写真もスライド上映しながら、アイヌ民族との出会い、今までの写真家としての活動についてお話いただきます。



宇井 真紀子 (うい まきこ) きんプロフィール

千葉県生まれ。東京都東村山市在住。写真家、樋口健二氏に師事し、写真を学ぶ。1992年よりアイヌ民族の撮影に取り組む。これまで『アイヌときどき日本人』(社会評論社)、『アイヌ、風の肖像』(新泉社)などを発刊、最新作『アイヌ100人のいま』(冬青社)では、アイヌ民族100人を撮影した連作で、一人を撮り、その人の紹介で次の人を撮影するという形で、北は北海道、南は奄美大島まで、8年かけて撮影した。その他、廃線になった鉄道のあった風景を写した『眠る線路』(ワイズ出版)もある。専門学校・大学でも教鞭を振り、後進の育成にも努めている。日本写真芸術専門学校講師、武蔵野美術大学非常勤講師。



主催：様似町／お問い合わせはアイヌ生活相談員事務所 (36-5656) まで